

# 『雑草という名の草はない』

せんげつ 先月までNHKの朝ドラは植物学者 牧野富太郎博士の生涯でした。その中では、すべての植物には名前があり、その一つ一つのちがあるということ

を伝えていきます。ところで、雑草と野草は違うようです。野草は原野に生えるけれども、雑草は人が管理している土地に生えます。雑草も野草も同じ植物ですが、その生える場所によって雑草と呼ばれたり、野草と呼ばれたりします。人間の都合によって呼

ぶのですから、雑草にすれば迷惑な話です。「雑草とは何か。その美点はまだ発見されていない植物である」と、あるアメリカの詩人が言っています。雑草と呼ばれる草も、一本一本よく見れば美しい。私

なつて地球の砂漠化を食い止めてくれているのです。私たちがむしろ雑草に感謝すべきかもしれません。ところで「雑草のように強く生きる」という言葉があります。これはなにも、雑草が他の植物より強いというのでは

で、環境の変化によって全滅することはないので。それが雑草の強さの実態なのです。「雑草という名の草はない」というのは、牧野博士の言葉ですが、どんな植物でもみな名前があつて、それぞれ自分の場所

で、環境の変化によって全滅